

石川県立看護大学 災害ボランティアサークル ふたば



防災訓練

- 地元地区での防災訓練に参加しました。
- ふたばは三角巾と身近なものを使った応急手当、骨折の応急処置、胸骨圧迫、骨密度測定を担当しました。
- ふたばが参加してから三年経ちますが、改めて住民の皆さんの防災意識の高さを痛感しました。



今年の大学祭では…

- 互理町の渡部菓子店のお菓子を販売しました。
- 教員や学生や地域の方々など、たくさんの方に来ていただき、お陰さまで完売しました。



災害ボランティア体験入門講座

- 12月17日(土)、石川県災害ボランティア協会の方々に来ていただいて「災害ボランティア体験入門講座」を受けました。
- 被災して必要なものが手に入らない状況で、新聞を使ってスリッパや食器を作ったり、できるだけ水を使わずに食事を作ったりと楽しみながらたくさんのことを学ぶことができました。



能登半島宿泊研修

- 9月20日、21日に「能登半島地震被災地における災害ボランティア宿泊研修」が行われました。金沢星稜大学、金沢大学、金沢工業大学、金城大学、石川県立看護大学、金沢科学技術専門学校の学生とともに、ふたばからも12名が参加しました。
- 1日目は能登半島地震の際に活動された6名の講師の話を受けたグループワーク。2日目は救急法コースと災害ボランティアコースに分かれての実践的な学びを経験しました。



活動報告

- 日本災害看護学会第18回年次大会で交流集会を行いました。30名ほどの方に足を運んでいただきました。
- ボランティア交流広場2016で多くの団体の活動発表とともに「ふたば」の活動を発表しました。



災害につよい街づくりフォーラム

- 2月26日(日)、石川県立看護大学で行われた「災害につよい街づくりフォーラム」に参加しました。
- 140名あまりの参加者でいっぱいの中、写真家の高橋智裕氏の基調講演があり、改めて命を守る大切さを感じました。その後、地元自主防災組織からの活動報告に続き、「ふたば」の活動報告をさせていただきました。



ふたば通信発行



暑中見舞いや年賀状



ホームページ&Facebook開設



今後の展望

- 地元での災害に強いまちづくりへの協力
 - 被災地の復旧、復興状況の動きや、住民のニーズの把握とそれに応えるボランティア活動の企画・展開
- (例) 仮設住宅から災害公営住宅へ引越しにより仮設住宅で形成されたコミュニティが失われる心配

◎災害公営住宅内外での新たなコミュニティ形成をお手伝いしたい！
◎サロンなどのみんなの集まる場所の提供を続ける！

心の交流プロジェクト

サークルHP: <http://hutaba.org/>
Facebook: 災害ボランティアサークルふたば